

# そうじや 復興レポート

西日本豪雨から立ち上がり、復興へ向けてがんばる市内の現状などをお伝えします。

**豪雨**で被害を受けた市や地食へ公社と市が稲刈りを無料で代行しました。対象は、アルミ工場の爆発と浸水の二重被害を受けた下原地区の米農家約40戸と、高梁川の堤防が決壊し

て浸水した下倉地区の米農家4戸です。10月10日、下原地区で稲刈りを開始。約12ヘクタールの圃場で収穫の時期を迎えていたヒノヒカリやアケボノなどをコンバインで刈り取りました。被災農家の

一人は、「稲は実ったが機械がなかった。大変ありがたい」と話しました。収穫された米は、ふるさと納税の返礼米として全国に出荷されます。  
**問い合わせ** 農林課農林係 (☎028271)

## 被災農家の稲刈りを無料代行 返礼米として 全国に出荷



黄金色に染まった稲穂をコンバインで刈り取る(写真上)。地元住民やボランティアも稲刈りを手伝った(写真右)



## 琴奨菊、嘉風 被災地を激励



被災者と握手を交わし励ます琴奨菊と嘉風(左から)

**大**相撲総社場所の開催に合わせて10月20日、琴奨菊と嘉風が西仮設住宅を慰問しました。

両関取は、神在地区の栄養委員が調理した塩ちゃんこ鍋300人前を一人ひとりに振る舞いました。また、記念撮影をしたり、サインに応じたりして被災者を励ましていました。琴奨菊は、「訪れて逆に励まされた。相撲を見て前向きな気持ちになってもら

えれば」と、嘉風は、「この慰問で一瞬でも災害のことを忘れてもらえれば。皆さんに元気を与えられる取組をしたい」と語り、総社市の一日も早い復興を願っていました。

日本相撲協会からも、横綱や大関のイラストがあしらわれたタオルが贈られ、同仮設住宅の入居者を中心に配られました。  
**問い合わせ** 生涯学習課 体育振興係 (☎028367)

## 全国から

## 総社市役所へ

<p>島根県津和野町から</p> <p>日熊 憲明 (農林課) 半年という短い期間ですが、少しでもお力になれるようがんばります。</p>	<p>鹿児島県日置市から</p> <p>南 義人 (土木課) 総社市の皆さまとともにがんばります。よろしくお願ひします。</p>	<p>長野県茅野市から</p> <p>名取 弘晃 (土木課) 短い期間ではありますが、復興支援のため最善を尽くします。</p>	<p>大阪府和泉市から</p> <p>中塚 崇智 (土木課) 微力ながら復興の力になればと思います。短い期間ですが、よろしくお願ひします。</p>	<p>大阪府和泉市から</p> <p>戸谷 祐大 (土木課) 短い期間ではありますが、精一杯がんばります。</p>
<p>赤磐市から</p> <p>石井 徹 (建築住宅課) 微力ですが、総社市のために一生懸命がんばります。</p>	<p>福岡県勝山市から</p> <p>岩岡 貴央 (税務課) 総社市の復興に向けてがんばりたいと思います。ガンバレ総社!</p>	<p>三重県名張市から</p> <p>西川 忠孝 (税務課) 市民の皆さまの笑顔につながるよう復興に向けてがんばりたいと思います。</p>	<p>鳥取県境港市から</p> <p>木田 徳治 (環境課) 被災の有無に関係なく、全ての市民の皆さまと復興に向けてがんばりたいと思います。よろしくお願ひします。</p>	<p>鳥取県米子市から</p> <p>戸崎 聡 (危機管理室) 総社市の皆さまのお力になれるようがんばります。よろしくお願ひします。</p>
<p>京都府与謝野町から</p> <p>糸井 健博 (福祉課) 総社市民の皆さまの笑顔につながるよう一生懸命業務にあたります。</p>	<p>神奈川県伊勢原市から</p> <p>佐藤 淳一 (危機管理室) 総社市が好きになりました。伊勢原市にもぜひ遊びに来てください。</p>	<p>東京都三鷹市から</p> <p>宮川 純貴 (福祉課) 短い期間ですが、総社市に少しでも多く貢献できるようにがんばります。</p>	<p>鹿児島県鹿児島市から</p> <p>堂園 真一 (環境課) 総社市の復興支援に力を尽くしたいと思います。よろしくお願ひします。</p>	

10月から、他自治体の応援職員5人を迎えました。11月からは9人が加わり、危機管理や税務などの職務にあたります。氏名・配属などは左のとおりです(広報紙11月号で紹介した職員を含みます)。  
**問い合わせ** 総務課職員係 (☎028220)

## 昭和仮設住宅完成 22戸に被災者入居



ロフト付き2DKの仮設住宅に引越しをする入居者

昭和地区で建設を進めていた仮設住宅が完成し10月14日、22戸の入居者に引き渡されました。これにより、計画した全ての建設型仮設住宅の整備が完了。被災した総社市民が身を寄せていた避難所は全て閉鎖されました。昭和仮設住宅は、美袋地内の私有地を市が購入。西仮設住宅と同様、福島県から譲り受けた木造住宅を26戸整備しました。そのうち、2戸を集会所として活用しています。市では今後も、仮設住宅やみなし仮設住宅などで暮らす被災者の生活再建の支援を行っていきます。  
**問い合わせ** 福祉課福祉総務係 (☎028264)

## 総社市への支援金 ありがとうございます

6億9919万円 (11月8日現在)

西日本豪雨に伴う支援金は11月8日までに、6億9919万143円(県からの義援金を含む)をお寄せいただいています。温かい支援に心よりお礼申し上げます。全員のお名前を掲載するのが本意ではございますが、紙面の都合上100万円以上の寄付をいただいた個人・団体のみ掲載させていただきます。

■高額寄付者 (10/11～11/8)  
宮城県市長会、株式会社TOKAI ケーブルネットワーク、橋爪香織【順不同、敬称略】

■被害状況 罹災証明書発行件数(住家のみ)

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
83	168	354	515

11月12日現在